



図書館だより 2月

四日市メリノール学院図書館

1月後半からコロナ感染症が全国的に拡大し、気分的に落ち着かない日々が続きましたね。気が付いたら2月に入っていたという感じですね。3年生が自宅学習となり、学校内も寂しくなりました。今月は14日(月)より2週間、蔵書点検のために図書館を閉館します。

図書の完全返却や図書館への立ち入り禁止など、みなさんに協力してもらおうことがたくさんあります。ご不便をおかけしますが、よろしくお願いします。

再開予定は、2月28日(月)です。

なぜ、蔵書点検をするの？



所蔵データ上は在庫(在架)になっているのに

所定の書架に探している本がなく、困ったことはありませんか？

こういったことを少しでも減らすために年1回ぐらいの頻度で、図書館では蔵書点検を行います。

蔵書点検とは、図書館の蔵書がきちんと館内にあるか、日本十進分類法(NDC)などに基づき正しい配列がなされているか、破損している図書や内容が古すぎて蔵書とするにはふさわしくない図書がないかなど、図書館の蔵書の正しい所在や現況を確かめる作業です。

図書が書架からなくなる原因はさまざまです。例えば意図せずうっかり違う棚に配架してしまう、書棚の裏側に落ちて見えなくなってしまうなど館内で迷子になってしまうことがあります。このほか、利用者が貸出手続きを忘れて外へ持ち出してしまうこともあります。蔵書点検の作業は、館内の本一冊一冊を所蔵データと照らし合わせ、所在状況が一致するかを確かめます。一致しないものについては、館内を探すことになります。この一連の作業を行う間、図書館は休館となります。